

ウッドデザイン賞2023、 環境大臣賞の授与が決定、 4つの大臣賞・特別賞が授与されます



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2023

2023-7-28
PRESS RELEASE

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

「ウッドデザイン賞2023」に最優秀賞として、新たに「環境大臣賞」の授与が決定しました。これにより、すでに公表しております「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」と合わせて4つの大臣賞が授与されます。また、特定のテーマに対して与えられる特別賞として「大阪・関西万博特別賞（国際博覧会担当大臣賞）」も新設されました。

応募締切は7月31日（月）18時です。「応募要項」は以下の公式サイトからダウンロードできます。

「ウッドデザイン賞2023」公式サイト <https://www.wooddesign.jp/>

SDGsやカーボンニュートラルへの取組が必須となっている今、森林や木材の利活用がクローズアップされています。木を使うことによって、社会課題の解決を目指す活動を「ウッドデザイン」と定義し、木の良さや価値をデザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を評価・表彰する顕彰制度が、「ウッドデザイン賞」です。



【環境大臣賞の授与が決定しました】

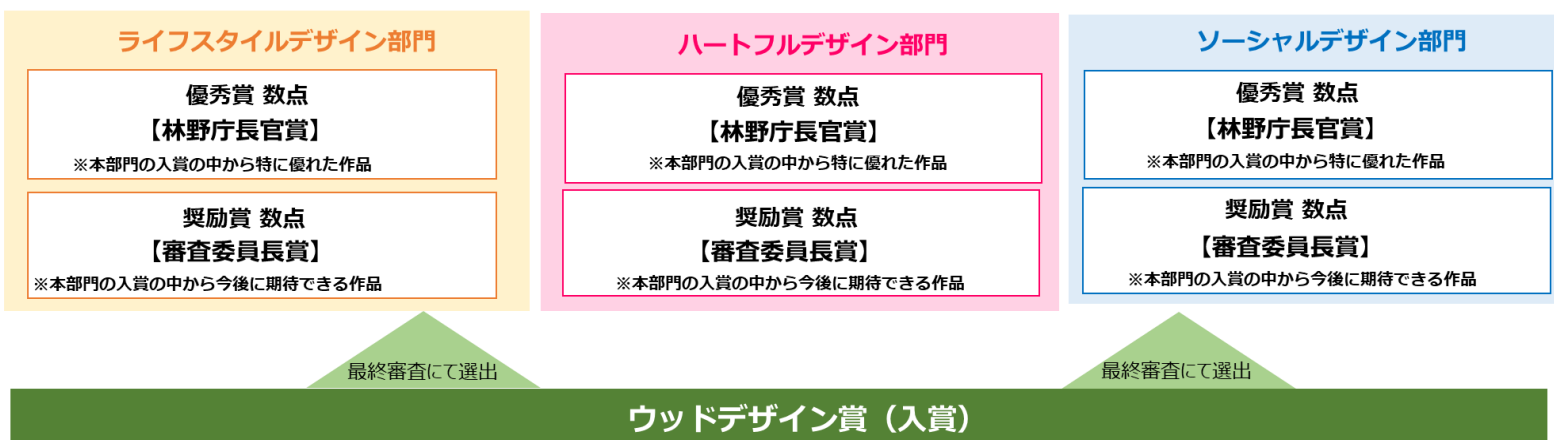
ウッドデザイン賞2023の最優秀賞に「環境大臣賞」の授与が決定しました。これにより、すでに決定しておりました「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」と合わせて4つの大臣賞が授与されることになりました。多様な木の活用のデザインを通じて、「地域活性化と持続可能な森林経営の推進」「新たなライフスタイルやワークスタイルへの対応」「木造建築技術の振興や発展」「脱炭素社会へのシフト」等に貢献する最も優れた作品（最優秀賞）に与えられます。

【特別賞「大阪・関西万博 特別賞（国際博覧会担当大臣賞）」も新設

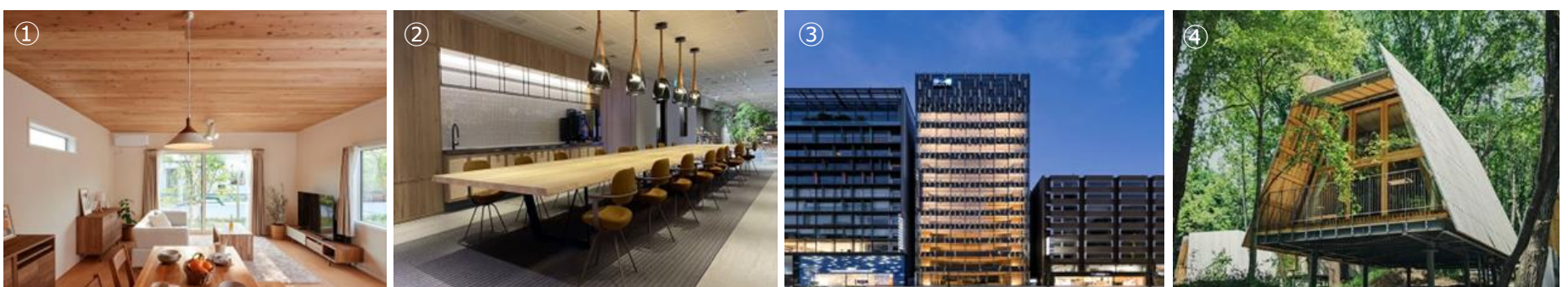
時代を反映する特定のテーマに対して設置される「特別賞」ですが、2023においては、「大阪・関西万博 特別賞（国際博覧会担当大臣賞）」を新設いたしました。2025年4月13日～10月13日に開催される2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン - Designing Future Society for Our Lives」の趣旨に基づき、ウッドデザイン賞の入賞作品のうち、「日本の木の文化・木のデザインを海外へ発信するにふさわしい、宿泊・飲食・体験施設、及びプロダクト、活動等」を満たす優秀な作品に与えられます。

最優秀賞 【農林水産大臣賞】 1点	最優秀賞 【経済産業大臣賞】 1点	最優秀賞 【国土交通大臣賞】 1点	最優秀賞 【環境大臣賞】 1点	大阪・関西万博特別賞 【国際博覧会担当大臣賞】 数点 ※特別賞のテーマを満たす入賞の中から特に優れた作品
----------------------	----------------------	----------------------	--------------------	--

※すべての入賞の中から最も優れた作品



【参考：ウッドデザイン賞2022 最優秀賞（4大臣賞）の例】



写真左から、①農林水産大臣賞「MOKUWELL HOUSE」（MEC Industry株式会社）、②経済産業大臣賞「ワーカーのウェルビーイングな働き方をサポートするビッグテーブル『シルタ』」（株式会社イトーキ）、③国土交通大臣賞「HULIC & New GINZA 8」（株式会社竹中工務店ほか）、④環境大臣賞「SANU 2nd Home」（株式会社Sanuほか）。

～実施概要～

- 名称：ウッドデザイン賞2023
- 応募受付期間：2023年6月20日（火）10:00～ 7月31日（月）18:00
- 応募対象分野：建築・空間、技術・建材、プロダクト、コミュニケーション、調査・研究等、木に関するあらゆるモノ・コトが対象

■ 表彰部門

ライフスタイルデザイン部門～木を活かして質の高いライフ＆ワークスタイルを提案しているものが対象
ハートフルデザイン部門～木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるものが対象
ソーシャルデザイン部門～木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象

■ 賞の構成

最優秀賞／「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」各1点
優秀賞／数点×3部門
奨励賞／数点×3部門
特別賞／大阪・関西万博特別賞 数点
ウッドデザイン賞（入賞）／二次審査を通過したものすべて

■ エントリー料

1件につき55,000円（消費税込）

第一次審査は無料です。第一次審査を通過し、第二次審査進出の作品はエントリー料をいただきます。ただし以下の場合、金額が異なります。

- ◆ 中小企業、個人事業主、自治体、非営利法人の場合：1件につき、33,000円（消費税込）※条件があります
- ◆ 同一作品を複数分野に応募する場合：2分野以降は半額
- ◆ 調査・研究分野への応募/一般社団法人日本ウッドデザイン協会の特別会員（自治体、公益的機関等）：無料

■ スケジュール（予定）

2023年6月20日～7月31日	応募期間
8月18日	第一次審査結果通知
8月19日～8月31日	第二次審査申請（書類）、エントリー料振込期間
9月11日～10月4日	第二次審査期間（現物等審査）
10月5日	ウッドデザイン賞（入賞）結果通知・発表
11月9日	最優秀賞、優秀賞、奨励賞等 発表

主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会について

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体（一般社団法人）です。

会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。

【参考】日本ウッドデザイン協会が農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省の4省と「建築物木材利用促進協定」を締結。

6月5日、当協会は4省庁と連携し木材利用促進を更に強化することとし、標題の協定を締結いたしました。「ウッドデザイン賞の企画・運営及びその成果の公表を通じた、木材利用の認知拡大、ノウハウの提供、事業者間マッチングの推進」も本協定内容に盛り込まれました。国との協定において4省庁との幅広い業種・分野をカバーした建築物木材利用促進協定の締結は弊協会が初となります。



名称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
英文名 Japan Wood Design Association（略称：JWDA）
設立 2021年11月18日
所在地 東京都港区新橋3-5-2 新橋OWKビル6階
会長 隈 研吾
会員 140（企業、団体、自治体等、2023年5月時点）

「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイト <https://www.wooddesign.jp/> ★最新情報を随時公開しています★

「ウッドデザイン賞」公式Facebookページ <https://www.facebook.com/wooddesignaward/>

ACCESS

● 本件に関するお問い合わせ先

日本ウッドデザイン協会内「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：高橋）

E-mail : press2023@wooddesign.jp